

第74回全国植樹祭岡山県実行委員会 第4回総会

日 時：令和4年3月25日（金）13：30～14：30

場 所：メルパルク岡山1階「泰平」

次 第

1 挨拶

2 報告

（1）令和3年度の取組状況及び収支決算見込みについて 【資料1】

（2）第74回全国植樹祭基本計画の策定状況について 【資料2】

3 議 事

【第1号議案】令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 【資料3】

【第2号議案】第74回全国植樹祭ロゴマークの作成について 【資料4】

（報告）大会テーマ・シンボルマークの決定について

4 その他

（1）大会ポスター原画の募集について 【資料5】

（2）苗木の育成体験の募集について 【資料6】

（3）今後の予定について 【資料7】

<配付資料>

【資料1】令和3年度の取組状況及び収支決算見込みについて

【資料2】第74回全国植樹祭基本計画の策定状況について

【資料2－1】第74回全国植樹祭基本計画（中間報告）の検討概要

【資料2－2】（別冊）第74回全国植樹祭基本計画（中間報告）

【資料3】【第1号議案】令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

【資料4】【第2号議案】第74回全国植樹祭ロゴマークの作成について

【資料5】第74回全国植樹祭大会ポスター原画の募集について

【資料6】苗木の育成体験の募集について

【資料7】第74回全国植樹祭岡山県実行委員会（総会）今後の予定

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

※ 総会終了後、表彰式等を予定しておりますので、引き続き、自席にてご参加くださいますよう、お願いいたします。

① 大会テーマ・シンボルマークの表彰式（各最優秀賞1点）

② 第74回全国植樹祭ロゴマークのお披露目式

第74回全国植樹祭岡山県実行委員会 第4回総会 出席者名簿

日 時：令和4年3月25日（金）13：30～14：30

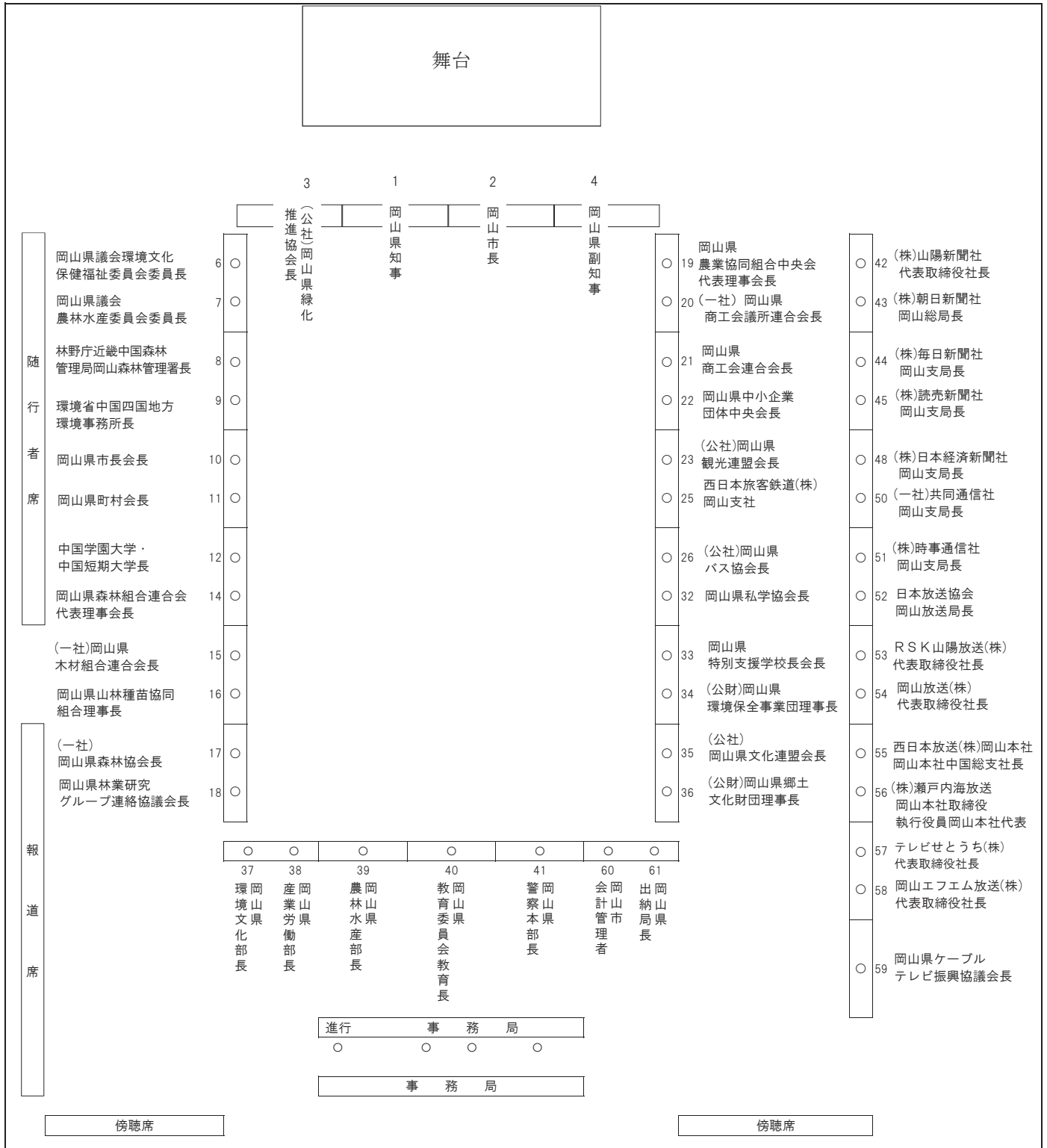
場 所：メルパルク岡山1階「泰平」 （敬称略）

番号	職名	機 関 ・ 団 体	役 職	氏 名	出欠	代理出席者
1	会長	岡山県	知事	伊原木 隆太	出	
2	副会長	岡山市	市長	大森 雅夫	出	
3	副会長	公益社団法人岡山県緑化推進協会	会長	小野 泰弘	出	
4	副会長	岡山県	副知事	横田 有次	出	
5	顧問	岡山県議会	議長	神宝 謙一	欠	
6	委員	岡山県議会環境文化保健福祉委員会	委員長	小林 義明	出	
7	委員	岡山県議会農林水産委員会	委員長	河野 慶治	出	
8	委員	林野庁近畿中国森林管理局岡山森林管理署	署長	坪木 直文	出	
9	委員	環境省中国四国地方環境事務所	所長	上田 健二	出	
10	委員	岡山県市長会	会長	伊東 香織	出	事務局長 小西 洋史
11	委員	岡山県町村会	会長	山崎 親男	出	事務局長 亀森 敏宏
12	委員	中国学園大学・中国短期大学	学長	千葉 喬三	出	
13	委員	岡山県立大学	理事長兼学長	沖 陽子	欠	
14	委員	岡山県森林組合連合会	代表理事会長	小野 泰弘	出	代表理事専務 池田 稔
15	委員	一般社団法人岡山県木材組合連合会	会長	田中 信行	出	
16	委員	岡山県山林種苗協同組合	理事長	難波 芳英	出	
17	委員	一般社団法人岡山県森林協会	会長	山崎 親男	出	専務理事 佐藤 朗
18	委員	岡山県林業研究グループ連絡協議会	会長	三木 敬臣	出	
19	委員	岡山県農業協同組合中央会	代表理事会長	青江 伯夫	出	
20	委員	一般社団法人岡山県商工会議所連合会	会長	松田 久	出	専務理事 高橋 邦彰
21	委員	岡山県商工会連合会	会長	田村 正敏	出	専務理事 大本 裕志
22	委員	岡山県中小企業団体中央会	会長	晝田 眞三	出	専務理事 脇本 靖
23	委員	公益社団法人岡山県観光連盟	会長	石井 清裕	出	
24	委員	岡山県旅館ホテル生活衛生同業組合	理事長	永山 久徳	欠	
25	委員	西日本旅客鉄道株式会社岡山支社	執行役員岡山支社長	平島 道孝	出	総務課 秋田 栄一郎
26	委員	公益社団法人岡山県バス協会	会長	小嶋 光信	出	副会長 政森 毅
27	委員	一般社団法人岡山県婦人協議会	会長	大西 泰子	欠	
28	委員	社会福祉法人岡山県社会福祉協議会	会長	足羽 憲治	欠	
29	委員	岡山県小学校長会	会長	石橋 良久	欠	
30	委員	岡山県中学校長会	会長	梅原 信芳	欠	
31	委員	岡山県高等学校長協会	会長	竹田 義宣	欠	
32	委員	岡山県私学協会	会長	金光 道晴	出	
33	委員	岡山県特別支援学校長会	会長	林 栄昭	出	
34	委員	公益財団法人岡山県環境保全事業団	理事長	坂井 俊英	出	参事 亀崎 紀行
35	委員	公益社団法人岡山県文化連盟	会長	若林 昭吾	出	
36	委員	公益財団法人岡山県郷土文化財団	理事長	石井 清裕	出	常務理事 信江 幸雄
37	委員	環境文化部	部長	佐藤 将男	出	
38	委員	産業労働部	部長	三浦 智美	出	
39	委員	農林水産部	部長	横尾 俊之	出	
40	委員	教育委員会	教育長	鍵本 芳明	出	
41	委員	警察本部	本部長	檜垣 重臣	出	
42	参与	株式会社山陽新聞社	代表取締役社長	松田 正己	出	社長室長 江見 肇
43	参与	株式会社朝日新聞社岡山総局	総局長	浅見 和生	出	
44	参与	株式会社毎日新聞社岡山支局	支局長	安達 一正	出	
45	参与	株式会社読売新聞社岡山支局	支局長	中館 聡子	出	
46	参与	株式会社産業経済新聞社岡山支局	支局長	高田 祐樹	欠	
47	参与	株式会社中国新聞社岡山支局	支局長	中島 大	欠	
48	参与	株式会社日本経済新聞社岡山支局	支局長	田村 雅弘	出	
49	参与	株式会社日刊工業新聞社岡山支局	支局長	大槲 茂成	欠	
50	参与	一般社団法人共同通信社岡山支局	支局長	土屋 景	出	
51	参与	株式会社時事通信社岡山支局	支局長	堀川 弘文	出	
52	参与	日本放送協会岡山放送局	局長	田中 意澄	出	
53	参与	R S K 山陽放送株式会社	代表取締役社長	里見 俊樹	出	総務局長 長原 正明
54	参与	岡山放送株式会社	代表取締役社長	中静 敬一郎	出	取締役 中尾 公
55	参与	西日本放送株式会社岡山本社	岡山本社中国総支社長	中川 弘之	出	
56	参与	株式会社瀬戸内海放送岡山本社	取締役執行役員岡山本社代表	三木 栄	出	
57	参与	テレビせとうち株式会社	代表取締役社長	土井 雅人	出	
58	参与	岡山エフエム放送株式会社	代表取締役社長	塩飽 哲文	出	
59	参与	岡山県ケーブルテレビ振興協議会	会長	石井 正人	出	
60	監事	岡山市	会計管理者	後河 正浩	出	
61	監事	岡山県	出納局長	森下 慎	出	

第74回全国植樹祭岡山県実行委員会 第4回総会 配席図

日 時：令和4年3月25日（金）13：30～14：30

場 所：メルパルク岡山1階「泰平」



【報告】

令和3年度の取組状況及び収支決算見込みについて

1 令和3年度取組状況

(1) 会議の開催

① 実行委員会

第3回 令和3年7月30日（金）

- ・お手植え・お手播き樹種（案）
- ・令和2年度収支決算（案） 等

第4回（本日開催）

② 幹事会

総会の審議事項検討

第2回 令和3年7月19日（月）

第3回 令和4年3月16日（水）

③ 専門委員会

◇式典等専門委員会

付託事項 式典行事に係る演出・内容等に関すること

第2回 令和3年6月25日（金）

第3回 令和4年1月11日（火）

◇森林資源循環利用専門委員会

付託事項 樹種の選定、植樹・木材利用等に関すること

第3回 令和3年6月30日（水）

第4回 令和3年11月30日（火）

第5回 令和4年3月4日（金）

◇大会テーマ・シンボルマーク・大会ポスター原画専門委員会

付託事項 大会テーマ、シンボルマーク及び大会ポスター原画の募集、
審査・選定に関すること

第2回 令和3年6月16日（水）

第3回 令和4年1月17日（月）

第4回 令和4年2月24日（木）

(2) 式典会場の決定

日 時 令和3年7月2日(金)

式典会場 ジップアリーナ岡山

決定の経緯 国土緑化推進機構による現地調査及び知事との協議

(3) 基本計画の策定

基本計画 全国植樹祭の開催に係る基本的事項(式典行事計画、植樹行事計画等)をまとめた計画

策定期間 令和3年度から令和4年度までの2か年

(4) 開催機運醸成に向けた取組

開催機運の醸成を図る各種取組を実施

① 苗木の育成体験

事業名 苗木のホームステイ・スクールステイ

実施日 令和3年10月1日(金)から11月26日(金)まで

参加団体 37団体(学校:26校、企業:6社、その他自治会等:5団体)

内容 全国植樹祭の説明・森林教室・育苗指導



② 広報啓発資材の作成

苗木の育成体験時に使用した横断幕や県産材を活用した参加記念品等を作成

③ 全国植樹祭だよりの作成

- ・「全国植樹祭だより(創刊号)」を発行
- ・今後、年2回(春、秋)の発行を予定



④ 第74回全国植樹祭ホームページの開設

- ・本大会に関する情報を効果的に発信するため、公式ホームページを開設
- ・令和4年3月28日(月)から公開



第74回全国植樹祭ホームページ
二次元コード



2 令和3年度収支決算見込み

(1) 収入の部

(単位：円)

区 分	当初予算額	収入済額	増 減	摘 要
1 負 担 金	14,980,000	14,980,000	0	岡山県負担金
2 諸 収 入	0	101	101	預金利息
合 計	14,980,000	14,980,101	101	

(2) 支出の部

(単位：円)

区 分	当初予算額	支出済額	不用額	摘 要
1 総 務 費	1,213,000	1,103,222	109,778	実行委員会・幹事会・ 専門委員会開催費 等
2 開催事業費	11,199,000	9,715,011	1,483,989	基本計画作成、苗木 の育成体験実施、地 域植樹会場調査測量 等
3 広報啓発費	2,568,000	2,523,927	44,073	大会テーマ・シンボル マーク選定、ホーム ページ開設、植樹祭 だより発行 等
合 計	14,980,000	13,342,160	1,637,840	

収入の部 14,980,101 円
 支出の部 13,342,160 円
 差引残額 1,637,941 円

※差引残額 1,637,941 円は岡山県に戻入する。

第 74 回全国植樹祭「基本計画」の策定状況について

1 概要

基本計画は、基本構想（令和元年度策定済）を踏まえ、全国植樹祭の開催に係る基本的事項（開催概要、式典行事計画、植樹行事計画等）について、まとめた計画で、令和 4 年度末に策定。

2 スケジュール

- ・ 令和 4 年 3 月 第 4 回県実行委員会総会：「基本計画」の策定状況報告
- ・ 令和 4 年 7 月 第 5 回県実行委員会総会：「基本計画（素案）」の報告
- ・ 令和 5 年 1 月 第 6 回県実行委員会総会：「基本計画（案）」審議
- ・ 令和 5 年 2 月 （公社）国土緑化推進機構特別委員会：「基本計画（案）」審議

3 検討状況

- ・ 基本計画策定事業者及び関係機関・団体等と協議を進めており、別冊（中間報告）のとおり。
- ・ 検討概要は、資料 2－1 のとおり。
- ・ 今総会で、大会テーマ・シンボルマーク・ロゴマークを決定予定。

■開催理念（3ページ）

- ・第74回全国植樹祭の開催を通じて、「豊富な森林資源の循環利用」を進めるとともに、森林の持つ公益的機能の確保に努める。
 - ・県民一人ひとりの緑化意識のさらなる醸成を図り、豊かな自然を守り育てるための県民運動を拡大する契機とし、みどりあふれる郷土を未来の子どもたちへつないでいく。併せて、本県の歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信する。
- 岡山県の特徴を活かした大会の基本方針（3ページ）
- ・未来に向けて多様で豊かな森林を守り育て、人と森林の理想的なかかわりへつなげていく大会
 - ・岡山県の豊かな自然や歴史・文化等の魅力発信

第1章 開催概要（5～7ページ）

第2章 式典行事計画（8ページ）

＜開催会場＞
式典会場：ジッブアリーナ岡山
サテライト会場・PR会場を設置

＜開催規模：約4,000人＞
県外招待者：950人
県内招待者：1,700人
演者・従事者：1,350人



式典会場（イメージ）

＜式典演出計画＞

式典は、プロローグ、記念式典、エピソードの3部構成とする。

区分	演出テーマ	内容
プロローグ	森林の軌跡	・招待者を歓迎する気持ちを表現 ・おかやまの林業の歴史や森林と人の関わりを紹介
記念式典	森林への思い	・森林への思いや都市とのつながり、決意を表明
エピソード	豊かな森林を次世代へ	・岡山の豊かな森林を次世代へつなげていくことを全員で確認し、全国に発信

※演出テーマ及び内容は、式典等専門委員会で検討中

第3章 植樹行事計画（10～13ページ）

＜お手植え所・お手播き所等＞

- ・式典会場内にお手植え所、お手播き所、代表者記念植樹樹地を設ける。
- ・式典会場周辺に、各県代表者等植樹樹地を設ける。

区分	内容
代表者記念植樹計画	・天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時の実施 ・天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種 ・大会後は、本県の森づくりに活用
各県代表者等植樹計画	・式典開始前に植樹を実施 ・天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種 ・大会後は、本県の森づくりに活用
県外招待者へ苗木を贈呈	・岡山から全国へ、身近なみどりを創出
地域植樹計画（詳細は第7章記念事業等計画に記載）	・令和5年度を中心に県民参加による植樹を実施 ・児童など県民が育てた苗木も使用

＜天皇陛下お手植え樹種 3種＞

アカマツ (低抗性：桃太郎松)	ヒノキ (少花粉)	スギ (少花粉)
--------------------	--------------	-------------

＜皇后陛下お手植え樹種 3種＞

クロガネモチ	アテツマンサク	キクザクラ
--------	---------	-------

第4章 式典会場等整備計画（15ページ）

＜主要施設計画＞

区分	内容
御座所	「大会テーマ」などを表現し、岡山らしさを象徴するデザイン
会場内工作物	県産材を使用し、大会終了後の再利用等による廃棄ゼロを



御座所（イメージ）



会場内工作物
第71回全国植樹祭（島根大会）



歓迎ゲート（イメージ）

第7章 記念事業等計画（25～26ページ）

＜周年イベント＞

- ・「第74回全国植樹祭」の周知、開催機運の醸成を図るため、1年前・200日前・100日前イベントを開催。
- ・「第74回全国植樹祭」の意義等を継承するため、アフターイベントを開催。

＜緑化意識・機運醸成イベント＞

- ・県民の緑化意識・開催機運の醸成を図るため、令和5年度を中心に開催。

＜地域植樹＞

区分	時期	場所
ブレ地域植樹	令和4年 秋頃	津山市阿波 津山市市場 高梁市有漢町有漢 新見市大佐小阪部 鏡野町上齋原 勝央町岡
地域植樹	令和5年 秋頃	
アフター地域植樹	令和6年 秋頃	津山市阿波



第71回全国植樹祭
(島根大会)

＜全市町村参画による記念植樹＞

- ・令和5年度を中心に、全市町村において、記念植樹の実施を検討。

＜苗木のホームステイ・スクールステイ＞

- ・第74回全国植樹祭記念事業等で活用する苗木の育成体験の実施。

第74回全国植樹祭

基本計画（中間報告）



岡山県

目次

第1章 開催概要

- 1 開催意義
- 2 岡山県における全国植樹祭の開催状況
- 3 開催理念
- 4 岡山県の特徴を活かした大会の基本方針
- 5 大会テーマ
- 6 シンボルマーク
- 7 大会ポスター原画
- 8 開催会場
- 9 主催
- 10 開催規模
- 11 開催時期

第2章 式典行事計画

- 1 基本的な考え方
- 2 式典演出計画
- 3 式典運営計画
- 4 式典進行プログラム

第3章 植樹行事計画

- 1 基本的な考え方
- 2 お手植え・お手播き計画
- 3 代表者記念植樹計画
- 4 各県代表者等植樹計画
- 5 県外招待者へ苗木の贈呈
- 6 地域植樹計画

第4章 式典会場等整備計画

- 1 基本的な考え方
- 2 施設配置計画
- 3 主要施設計画
- 4 案内・誘導計画
- 5 電気・給排水・通信設備計画
- 6 飾花計画

目次

第5章 開催概要

- 1 基本的な考え方
- 2 招待計画
- 3 招待者行動計画
- 4 受付計画
- 5 特別接伴計画
- 6 レセプション計画
- 7 会場内動線計画
- 8 会場おもてなし計画
- 9 昼食計画
- 10 医療・衛生計画
- 11 消防・防災・警備計画
- 12 実施本部計画
- 13 研修・リハーサル計画
- 14 非常時対応計画

第6章 宿泊・輸送等計画

- 1 基本的な考え方
- 2 宿泊計画
- 3 輸送計画
- 4 運行管理体制・緊急時対応
- 5 道路交通対策

第7章 記念事業等計画

- 1 基本的な考え方
- 2 記念事業
- 3 関連事業

第8章 広報・協賛計画

- 1 基本的な考え方
- 2 広報計画
- 3 協賛計画

第1章 開催概要

1 開催意義

本県は、みどり豊かな中国山地に3つの河川（吉井川、旭川、高梁川）が源を発し、良質で豊かな水をたたえながら吉備高原、岡山平野を経て、風光明媚な瀬戸内海に注いでおり、みどりと水に恵まれた環境の中で多様な自然が育まれています。こうした多様で身近な自然は、生物多様性の保全やレクリエーションの場の提供、木材の生産など、私たちの快適な生活に欠くことのできない大切な役割を担っています。

また、県土の約7割を森林が占めており、生産量国内トップクラスのヒノキを始めとする豊富な森林資源を活用し、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを循環させることで、県民共有の財産である岡山の森林をより良い姿で次の世代に引き継いでいかなければなりません。

こうした中で、令和6（2024）年に開催する第74回全国植樹祭は、多様な主体が一体となり、森林を始めとするみどり豊かな自然を守り育てる取組等を推進することにより、森林の持つ公益的機能の確保はもとより、近年、その重要性が再認識されている二酸化炭素の吸収源である森林の役割や、持続可能な形で資源を利用する「循環経済」の加速化など、未来に向けて、人と森林の理想的なかわりへつなげていけるよう、岡山ならではの特色ある有意義な大会とします。



第1章 開催概要

2 岡山県における全国植樹祭の開催状況

昭和42(1967)年 4月9日、金山山頂（岡山市）において、天皇皇后両陛下をお迎えし、「拡大造林と環境緑化」を大会テーマに、第18回全国植樹祭を開催しました。

当日は、あいにくの荒天となり、開催規模を約200人に縮小（晴天時は13,000人を予定）して実施されました。会場のテントの中で、両陛下はアカマツを鉢にお手植えになりました。

また、翌4月10日、蒜山地域（旧真庭郡川上村）において、天皇陛下はアカマツを、皇后陛下はヒノキをお手播きになりました。



アカマツをお手植えされる天皇皇后両陛下（岡山市）



お手植え苗木移植式
（4月17日 岡山市）



両陛下お手植えの苗木の移植
（4月17日 池田厚子さん）



お手播きされる天皇皇后両陛下（蒜山地域）
（天皇陛下：アカマツ、皇后陛下：ヒノキ）

第1章 開催概要

3 開催理念

私たちは、第74回全国植樹祭の開催を通じて、「豊富な森林資源の循環利用」を進めるとともに、森林の持つ公益的機能の確保に努めます。

また、県民一人ひとりの緑化意識のさらなる醸成を図り、豊かな自然を守り育てるための県民運動を拡大する契機とし、みどりあふれる郷土を未来の子どもたちへつないでまいります。併せて、本県の歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信します。

4 岡山県の特徴を活かした大会の基本方針

(1) 未来に向けて多様で豊かな森林を守り育て、人と森林の理想的なかかわりへつなげていく大会

- 豊富な森林資源の循環利用による林業の成長産業化の実現に向けて、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを活性化させるとともに、少花粉スギ・ヒノキ苗木による植替えや木材・木質バイオマスの利用を通じて、森林の公益的機能の確保を図ります。
- 環境問題への関心の高まりから、県内各地で、森林保全活動に取り組むボランティア団体や企業等が増えています。今後、全国植樹祭に向け、より多くの県民の皆様に参加いただきながら開催の機運を盛り上げてまいります。また、この大会を契機として、緑化意識の醸成を図り、豊かな森林の緑をよりよい姿で将来へ引き継いでいきます。

(2) 岡山県の豊かな自然や歴史・文化等の魅力発信

- 中国山地、瀬戸内海、三大河川など多彩で豊かな自然や、本県の気候風土に育まれた歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信します。
- 県外から訪れる多くの参加者に対して、関係者はもとより県民全体で「おもてなしの心」で対応し、岡山県にまた来たいと思われるような「温かみ」のある大会とします。

第1章 開催概要

5 大会テーマ

全国から応募があった1,444点の作品の中から選定しました。

晴れの国 光で育つ 緑の心

おおすみ はんな

- 作 者：大隅 絆成さん（岡山市北区・岡山市立西小学校5年生 ※選定時）
- 制作意図：岡山は晴れの国だから光を使った。育つのは緑にも心にも使えるから両方育てばいいなと思いその願いをこめた。

6 シンボルマーク

全国から応募があった471点の作品の中から選定しました。

みやかわ ちはる

- 作 者：宮川 千明さん（岡山市北区）
- 制作意図：ももっち、うらっちの足元の輪を繋げる事で、「循環」「人・活動のつながり」を表現。2人の服装は緑を基調に動きやすい格好にした。背景の桃にサンバースト（太陽光線）をあしらう事で、晴れの国のイメージも出して岡山らしさを出した。



7 大会ポスター原画

令和4年度募集予定

岡山県内の小中高校生等から応募があった●●●点の作品の中から選定しました。

- 作 者：
- 制作意図：

第1章 開催概要

8 開催会場



(1) 式典会場

式典会場では、式典行事、天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き行事や各県代表者等による植樹を実施します。また、岡山県の魅力を発信するおもてなし広場を隣接地に設定し、参加者を歓迎します。

■ ジップアリーナ岡山（岡山市北区）

J R岡山駅から約1.5kmの岡山県総合グラウンド内に位置し、メインアリーナやサブアリーナを備え、ガラス面を多く採用し、木材を椅子、床、壁面に使用した明るく開放的で温かい雰囲気 of 体育館です。屋内施設であるため、荒天時の式典会場は別に設けません。



ジップアリーナ岡山



式典会場（イメージ）

第1章 開催概要

(2) サテライト会場・PR会場

式典参加者のみならず、より多くの県民の皆様と開催理念を共有し、第74回全国植樹祭の開催効果を高めるため、サテライト会場やPR会場を設置します。サテライト会場やPR会場では、式典中継映像の放映や木工体験等を実施します。

区分	会場名	所在地
サテライト会場 ※大会当日に開催		
PR会場 ※大会当日に開催		

■ サテライト会場



■ PR会場



(3) 地域植樹会場

令和5年度を中心とした県民参加の地域植樹会場を設置します。

区分	時期	場所	
プレ地域植樹	令和4(2022)年 秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ヶ山牧場跡地
地域植樹	令和5(2023)年 秋頃	津山市市場	こえがたわ ウッドパーク声ヶ峠
		高梁市有漢町有漢	高梁市市有林
		新見市大佐小阪部	大佐山大日高原
		鏡野町上齋原	恩原高原
		勝央町岡	おかやまファーマーズ・ マーケット ノースヴィレッジ
アフター 地域植樹	令和6(2024)年 秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ヶ山牧場跡地

第1章 開催概要

9 主催

公益社団法人国土緑化推進機構
岡山県

10 開催規模

第74回全国植樹祭は、県内外から参加する招待者、協力者・スタッフ等を含め、4,000人程度の規模で開催します。

参加者区分	参加予定者数	備考
県外招待者	950人	国関係者、被表彰者、各都道府県招待者 等
県内招待者	1,700人	県議会議員、市町村関係者、森林・林業・緑化関係者、実行委員会委員、県内公募による一般県民等
本部員・協力員	1,350人	実施本部員、協力員、出演者、運営ボランティア等
合計	4,000人	

11 開催時期

令和6(2024)年春

第2章 式典行事計画

1 基本的な考え方

式典行事は、次の事項を基本として実施します。

- 開催理念を共有するとともに、参加者の心に残る内容の大会とします。
- 式典は、簡素化を図りながらも、厳粛で品格があるものとします。
- 県内外から、若い世代、高齢者、障害のある方等できる限り多くの皆様や大会に賛同いただいた企業、団体等が参加できるよう配慮します。

2 式典演出計画

式典は、プロローグ、記念式典、エピローグの3部構成とします。

区分	演出テーマ	内容
プロローグ	もり 森林の軌跡	○招待者を歓迎する気持ちを表現 ○おかやまの林業の歴史や森林と人の関わりを紹介
記念式典	もり 森林への思い	○森林への思いや都市とのつながり、決意を表明
エピローグ	もり 豊かな森林を次世代へ	○岡山の豊かな森林を次世代へつなげていくことを全員で確認し、全国に発信

※演出テーマ及び内容は、式典等専門委員会で検討中

3 式典運営計画

式典運営は、次の事項を基本とし、岡山県らしさを感じていただける運営を行います。

- 式典の運営は、参加者の安全性や快適性に十分配慮し、児童・生徒やボランティア等の協力を得ながら行います。
- 司会者や式典補助員、式典音楽隊の出演者等については、児童・生徒をはじめ県内の関係団体等の協力と参加を得て編成します。

第2章 式典行事計画

4 式典進行プログラム

時間	区分	プログラム	進行内容
50分程度	プロローグ		
60分程度	記念式典		
30分程度	エピローグ		

検討中

第3章 植樹行事計画

1 基本的な考え方

植樹行事は、次の事項を基本として実施します。

- 将来目指すべき森林の姿をイメージした上で、本県の気候風土や地域の特性に適した樹種で、県民の皆様親しみのあるものを選定します。
- 式典会場内にお手植え所・お手播き所、代表者記念植樹地を設けます。
- 式典会場周辺に、各県代表者等による植樹地を設けます。
- 県民参加による森づくり・身近なみどりの創出につなげていくため、地域植樹会場を設け、多くの県民の皆様が参加できるようにします。
- 植樹用の苗木は、県内で採取した種子等により育成したものを使用することを基本とし、地域植樹では児童など県民の皆様が育てた苗木も使用します。

2 お手植え・お手播き計画

- 天皇皇后両陛下に、お手植え、お手播きを賜ります。
- お手植えされた記念樹は、第74回全国植樹祭の開催を記念し、県土を育む豊かな森づくりのシンボルとして大切に管理・育成していきます。
- お手播きされた種子から養成した苗木は、岡山県が管理・育成し、県内の公共施設等に「記念樹」として配付します。



第70回全国植樹祭（愛知大会）

第3章 植樹行事計画

■ 天皇陛下お手植え樹種

県を代表する有用な樹木3種を選定

樹種	特徴・選定理由など
アカマツ (抵抗性：桃太郎松)	 ・県の木として広く県民に親しまれています。 ・建築材としての利用のほか、備前焼の燃料として利用されています。 ・第18回大会（昭和42年）で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹種です。
ヒノキ (少花粉)	 ・県の林業を支える主要樹種で、県内には気候風土に適したヒノキが多く植えられています。 ・建築材などに利用され、生産量は全国トップクラスです。 ・第18回大会で皇后陛下がお手播きされた樹種です。
スギ (少花粉)	 ・県の林業を支える主要樹種で、ヒノキの次に多く植えられています。 ・建築材やC L Tの材料として利用されています。

■ 皇后陛下お手植え樹種

県にゆかりのある花や実の美しい樹木3種を選定

樹種	特徴・選定理由など
クロガネモチ	 ・地方名の「あくら」は岡山市内の道路の名称としても親しまれています。 ・5月から6月頃に淡紫色の小花を咲かせた後、赤い実を付けます。
アテツマンサク	 ・阿哲郡（現・新見市）で発見され、命名された地域固有種です。 ・2月から3月頃に淡黄色で短冊のような花を咲かせます。
キクザクラ	 ・昭和28年に昭和天皇が行幸啓の際、後楽園に植樹されました。 ・池田厚子さん（順宮厚子内親王）のお印です。 ・4月下旬に淡紅色の多数の花弁を付ける「菊咲き」をします。

第3章 植樹行事計画

■ 天皇陛下お手播き樹種

将来にわたり林業を支える樹木2種を選定

樹種		特徴・選定理由など
ヒノキ (少花粉)		・将来にわたり林業を支える樹種として県が普及に取り組んでいます。
スギ (少花粉)		※木材の利用期を迎えているスギ・ヒノキ人工林の伐採に併せて、跡地に少花粉苗木による植替えを促進するなど花粉発生源対策に取り組んでいます。

■ 皇后陛下お手播き樹種

四季折々の景観を形成する花や紅葉の美しい樹木2種を選定

樹種		特徴・選定理由など
ヤマザクラ		・県内に広く自生する野生種で、県の天然記念物など、地域のシンボルとなっています。 ・淡紅色の花を咲かせ、新緑の山野に春の風情を添えています。
イロハモミジ		・県内に広く自生する樹種で、国の名勝の豪渓など、多くの名所があります。 ・紅葉する様子は鮮やかで、秋の自然景観に彩りを添えています。

3 代表者記念植樹計画

- 招待者代表は、式典会場で、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時にそれぞれ1本ずつ行います。
- 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。
- 代表者記念植樹木は、アフター地域植樹において、本県の森づくりに活用します。

第3章 植樹行事計画

4 各県代表者等植樹計画

- 各県代表者等は、式典会場周辺で、式典開始前にそれぞれ1本ずつ植樹を行います。
- 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。
- 各県代表者等植樹木は、アフター地域植樹において、本県の森づくりに活用します。

5 県外招待者へ苗木の贈呈

- 県外招待者には、苗木を贈呈します。
- 全国各地において植樹をしていただくことにより、岡山から全国へ、身近なみどりの創出につなげてまいります。

6 地域植樹計画

- 令和5年度を中心に県民参加による植樹を行います。
- 岡山県の気候風土や会場の特性に適した樹木を植樹します。
- 児童など県民が育てた苗木も使用します。
- 木工体験等のイベントを併催し幅広い世代の県民の皆様に参加していただきます。

区分	時期	場所	
プレ地域植樹	令和4(2022)年 秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ヶ山牧場跡地
地域植樹	令和5(2023)年 秋頃	津山市市場	こえがたわ ウッドパーク声ヶ峠
		高梁市有漢町有漢	高梁市市有林
		新見市大佐小阪部	大佐山大日高原
		鏡野町上齋原	恩原高原
		勝央町岡	おかやまファーマーズ・ マーケット ノースヴィレッジ
アフター 地域植樹	令和6(2024)年 秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ヶ山牧場跡地

第4章 式典会場等整備計画

1 基本的な考え方

- 既存施設の活用など経費削減を図ることを基本とします。
- 県産木材を積極的に使用します。
- 使用した県産木材は、再使用及び再生利用等を行います。

2 施設配置計画

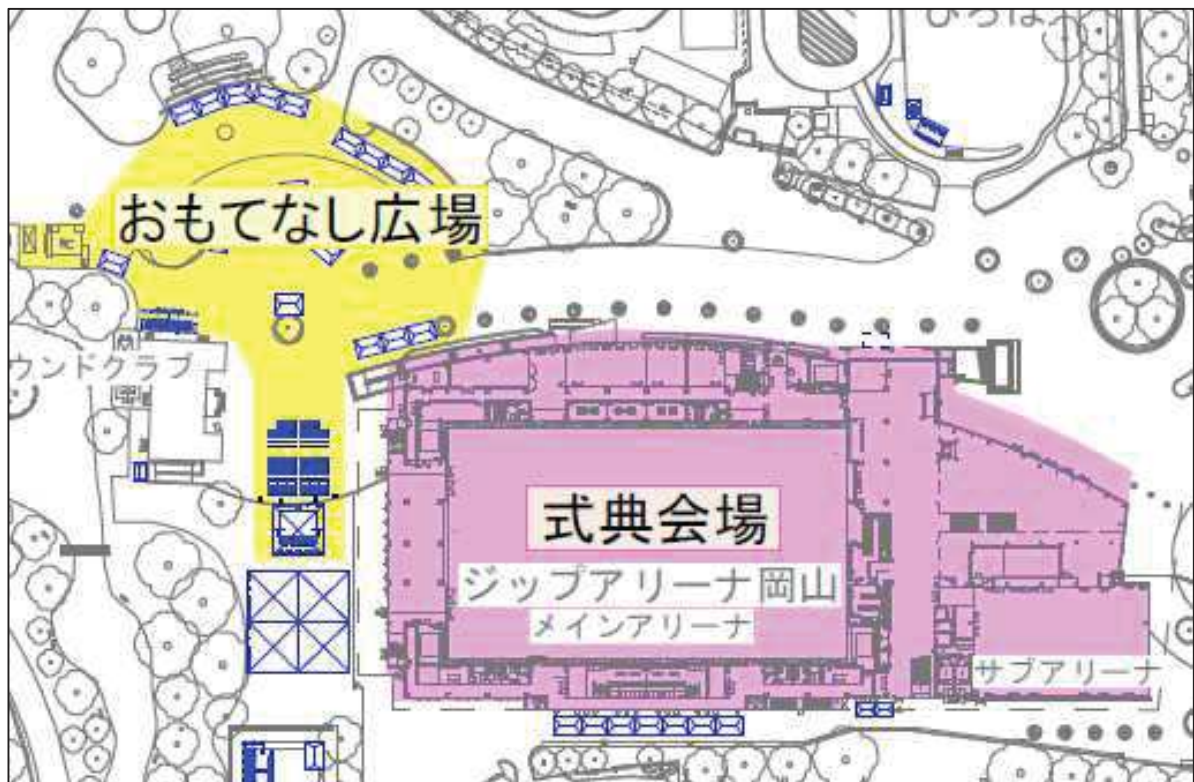
(1) 式典会場

会場レイアウトや構造物等については、安全性や機能性を考慮し、全ての参加者が安心して快適に参加できるよう配慮します。

(2) おもてなし広場

式典会場と隣接しておもてなし広場を設置し、招待者に岡山の魅力をPRします。

敷地図



第4章 式典会場等整備計画

3 主要施設計画

(1) 御座所

御座所は、「大会テーマ」などを表現し、岡山らしさを象徴するデザインにします。



※イメージ

(2) 会場内工作物

会場内工作物は、全国植樹祭終了後の再利用を考慮して制作します。
原則として県産木材を使用し、安全性、経済性及び周辺の景観に配慮したものにします。



木製ベンチ



木製プランターカバー

第71回全国植樹祭（島根大会）



歓迎ゲート（イメージ）

第4章 式典会場等整備計画

4 案内・誘導計画

- 招待者が安全かつスムーズに式典や植樹行事などに参加することができ、各施設等への移動に支障がないよう、各所に案内サインを設置します。
- 案内サインの材料には、県産木材のほか、リユース可能な製品の活用等、環境に配慮した資材の使用に努めます。
- 案内サインは、ユニバーサルデザインに留意し、招待者が見やすい色彩、大きさにするとともに、見やすい位置、高さに設置します。また、視覚障害者向けに音声案内設備を設置するなど、障害等の特性に応じた方法で案内できるよう対応します。

配置区域	サイン種別	内容
会場全体	施設表示	各エリア、施設等の名称を表示
	誘導	招待者を各エリア、施設等に誘導するサインを動線上に設置
	注意事項	遵守事項、安全管理事項、手荷物検査の協力要請事項、持ち込み禁止物に関する注意事項等を表示
式典	座席表示	招待者の座席位置等の表示
	会場案内図	会場内の全体図及び現在地の表示
輸送バス	バス号車	バス号車添乗員が招待者を誘導する際、バス号車を表示したプラカードを使用
	バス誘導	バスを会場周辺の動線に従い誘導したり、招待者乗降位置や駐車場へ誘導

第4章 式典会場等整備計画

5 電気・給排水・通信設備計画

(1) 電気設備計画

既存設備で不足が生じた場合は、仮設電源（ジェネレーター等）を設置し対応します。

(2) 仮設トイレ計画

おもてなし広場などに適正な数量を設置するとともに、衛生面にも十分に配慮します。

(3) 通信設備計画

運営を円滑に行うため、携帯電話やトランシーバーなどの無線通信機器を適正に設置します。

6 飾花計画

会場周辺の飾花は、県内産の花きを使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の安全かつ円滑な動線が確保できるよう設置します。

設置区域	内 容
式典会場	各エリアの区分や招待者の動線を明確にするとともに、会場の雰囲気を引き立てるよう、プランター等を設置します。
サテライト会場 P R会場	プランター等を設置します。



第71回全国植樹祭（島根大会）

第5章 運営計画

1 基本的な考え方

- 全国からの招待者を岡山らしいおもてなしでお迎えし、開催の意義や理念を広く発信する場とします。
- 全国植樹祭の運営に当たっては、市町村、関係団体、NPO法人、ボランティア団体等との協力、連携を図りながら進めます。

2 招待計画

(1) 運営上による招待区分

参加者区分		人数	備考
①中央特別招待者		30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、岡山県知事、県議会議長、次期開催県知事、開催市町村長 等
②特別招待者	県外等特別招待者	220人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者等
	県内特別招待者	200人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員 等
	小計	420人	
③一般招待者	県外一般招待者	700人	各都道府県森林・林業関係者 等
	県内一般招待者	1,500人	県内の森林・林業・緑化関係者、県内公募による一般県民 等
	小計	2,200人	
招待者小計（①+②+③）		2,650人	
④本部員・協力員		1,350人	実施本部員、協力員、出演者、運営ボランティア等
合計（①+②+③+④）		4,000人	

第5章 運営計画

3 招待者行動計画

検討中

4 受付計画

5 特別接伴計画

※「3 招待者行動計画」、「4 受付計画」及び「5 特別接伴計画」は第6章 宿泊・輸送等計画と併せて検討

6 レセプション計画

天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、第74回全国植樹祭招待者の来訪を歓迎し、懇親を深める場とします。

【主 催】 岡山県

7 会場内動線計画

検討中

第5章 運営計画

8 会場おもてなし計画

- 式典会場と隣接しておもてなし広場を設置します。招待者が快適に過ごせるよう総合案内所や湯茶接待コーナー、仮設トイレ等を整備します。
- 岡山県の森づくり活動の取組や観光、特産品等を招待者に広くPRするため、各種展示コーナー、物産販売コーナー等を関係団体の協力により披露します。
- おもてなしステージでは、郷土芸能等の演目を実施します。
- 会場警備上、傘の持込みができないため、事前にレインコートを配付します。

区分	種類	内容
おもてなし広場	総合案内所	各種案内・情報提供
	湯茶接待コーナー	湯茶、ミネラルウォーターの提供
	おもてなしステージ	郷土芸能等の披露
	展示コーナー	岡山県の森林・林業、観光等の紹介
	販売コーナー	岡山県の特産品や飲食物等の販売
	臨時郵便局	記念切手の販売、郵便・宅配サービス



第70回全国植樹祭（愛知大会）

第5章 運営計画

9 昼食計画

- 県産食材をふんだんに使用した「岡山県らしい」弁当とします。
- 弁当の製造、輸送、保管、配付にあたっては、衛生・安全面に万全を期すとともに、保冷車で運搬します。
- 弁当等の容器・包装資材については、環境に十分配慮します。



第71回全国植樹祭（島根大会）

※実施手法等については検討中

10 医療・衛生計画

（1）医療救護所の設置

- 県総合グラウンド内に救護所を設置し、傷病者の医療救護を行います。
- 消防署や近隣の医療関係機関の協力を得て、緊急の場合の搬送・受入体制を整えます。

（2）衛生対策

- 保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。
- 食の安全を期すため、弁当業者や宿泊施設、会場内の食品提供施設などの指導を徹底します。
- 飲食等により発生する廃棄物の適切な処理を行い、各会場及びその周辺の環境美化に努めます。
- 国の「感染症対策の基本的対処方針」や「イベント等における業種別ガイドライン」等を踏まえて、本大会における必要な計画・方針を作成し、三密（密閉・密集・密接）の抑止や消毒等の感染リスク拡大防止などの基本的な対策を実施するとともに、今後の様々な情勢変化を把握し、迅速かつ適切な対策を講じるなど、参加者の安全を最優先に、感染症対策を徹底します。

※詳細には、運営計画を検討する中でマニュアルを作成

第5章 運営計画

11 消防・防災・警備計画

- 消防、警察署その他関係機関との協力体制を築き、連携を密にして、招待者等の安全を確保し、安心して参加いただけるようにします。

(1) 消防・防災

- 実施本部が中心となり、異常事態の早期発見・通報に努めます。
- 会場内は、喫煙所を除き全て禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- おもてなし広場等の火気使用についても管理を徹底します。
- 避難計画を策定し、実施本部員への周知を図るとともに、安全に避難できる体制を整えます。

(2) 警備

- 会場内での事件・事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察等関係機関と協力して警備を実施します。
- 警備員などを配置して、警備や車両の整理、招待者等の誘導を行います。
- 式典会場の入場ゲートでは、金属探知機等による持ち物検査や入場者の確認を行います。
- 式典会場、植樹会場、駐車場等では、使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視・巡回警備等を行います。

※詳細には、運営計画を検討する中でマニュアルを作成

12 実施本部計画

- 円滑な運営を図るための実行組織として、「第74回全国植樹祭岡山県実施本部」を設置します。
- 県職員、ボランティアなどの協力を得て効率的な要員配置を行うとともに、実施運営の円滑化及び招待者等の安全性や快適性の確保に努めます。

第5章 運営計画

13 研修・リハーサル計画

- 円滑な運営に向けて、実施本部員、協力員（ボランティア等）の研修を行うほか、出演者を含めたリハーサルを実施します。
- 効果的な研修・リハーサルを実施するため、事前に、各班単位の「運営マニュアル」を作成します。
- リハーサル計画に基づき、実施本部員全員が業務内容を把握できるようにします。

（１）実施本部員等の研修計画

実施本部員、協力員（ボランティア等）の研修は、事前の資料配付、現地視察、リハーサルへの参加等により実施します。

（２）研修・リハーサル計画

区分	時期	場所	参加者	内容
		検討中		

14 非常時対応計画

- 開催日の1週間前から随時、気象情報の収集に努め、集中豪雨、地震、突発事案を含めた非常事態が発生した場合は、実施の可否を判断するとともに、ホームページ等にて周知します。
- あらかじめ関係機関と万全の連絡体制を構築し、円滑な指示・伝達を行います。

第6章 宿泊・輸送等計画

1 基本的な考え方

2 宿泊計画

3 輸送計画

4 運行管理体制・緊急時対応

5 道路交通対策

※「1 基本的な考え方」から「5 道路交通対策」までは第5章 運営計画「3 招待者行動計画」、「4 受付計画」及び「5 特別接伴計画」と併せて検討

第7章 記念事業等計画

1 基本的な考え方

第74回全国植樹祭の開催理念を広めるとともに、森づくりや木材利用の必要性について、県民の皆様幅広く啓発するため、記念事業等を実施します。

2 記念事業

■ 周期イベント

第74回全国植樹祭の大会の周知、開催気運の醸成等を図るため、周期イベント（1年前、200日前、100日前、アフターイベント）を開催します。

【時期】

【場所】

【内容】

検討中

■ 緑化意識・機運醸成イベント

県民の緑化意識・開催機運の醸成を図るため、令和5年度を中心に開催します。

■ 地域植樹（再掲）

県内に設置した地域植樹会場で県民参加による植樹を行います。岡山県の気候風土や会場の特性に適した樹木を植樹します。

区分	時期	場所	
プレ地域植樹	令和4(2022)年 秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ケ山牧場跡地
地域植樹	令和5(2023)年 秋頃	津山市市場	こえがたわ ウッドパーク声ヶ峠
		高梁市有漢町有漢	高梁市市有林
		新見市大佐小阪部	大佐山大日高原
		鏡野町上齋原	恩原高原
		勝央町岡	おかやまファーマーズ・ マーケット ノースヴィレッジ
アフター 地域植樹	令和6(2024)年 秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ケ山牧場跡地

第7章 記念事業等計画

■ 全市町村参画による記念植樹

第74回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、令和5年度を中心に、県内市町村において、記念植樹を実施します。

【場 所】 各市町村の公共施設等

【内 容】 記念植樹

■ 苗木のホームステイ・スクールステイ

第74回全国植樹祭記念事業等で活用する苗木の育成体験を実施します。この取組により森林や身近なみどりの大切さについて、児童・生徒をはじめとする多くの県民の皆様にご覧いただきとともに、第74回全国植樹祭の開催機運を醸成します。

■ 「木製地球儀」巡回展示

第74回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、大会シンボルである「木製地球儀」を県内各地で巡回展示します。

■ 記録誌の発行

第74回全国植樹祭の式典行事、植樹行事をはじめ、各種記念行事などの取組を記録誌にまとめ、関係機関等に配布します。

3 関連事業

■ 第52回全国林業後継者大会

第74回全国植樹祭の併催行事として「全国林業後継者大会」を開催します。

【時 期】 令和6(2024)年春（第74回全国植樹祭の前日）

第8章 広報・協賛計画

1 基本的な考え方

- 広報宣伝や協賛募集を通じて、第74回全国植樹祭の開催理念、基本方針及び内容、大会に向けた様々な取組等について、広く普及・浸透を図り、開催への機運を醸成していくとともに、今回の大会を本県の魅力を全国に発信する絶好の好機ととらえ、効果的なPRを行います。
- 広報媒体の特性を生かした情報発信により、効果的な広報活動を実施します。また、SNSを活用し若い世代への情報発信も行います。
- ロゴマーク及び大会ポスター原画を活用し、第74回全国植樹祭の開催を県内外に広報します。

2 広報計画

(1) インターネットの活用

第74回全国植樹祭の公式ホームページを開設するとともに、SNSの活用等を通じて、各種イベント・取組等に関する情報を積極的に発信します。また、各種問い合わせや申し込みなどについても、インターネットを効率的に活用します。

(2) 公共広報媒体の活用

県及び各市町村の広報媒体を有効活用し、広く県民に向けて、きめ細かい情報提供とPR活動を実施します。

(3) マスメディアの活用

第74回全国植樹祭、記念事業等に関する情報が広く発信されるよう、テレビ、ラジオ、新聞等の各報道機関への情報提供を積極的に行います。

(4) 企業・団体との連携

ロゴマーク等の使用を広く呼びかけるなど、県内を中心とした企業・団体の支援協力による広報活動を通じ、第74回全国植樹祭の周知を図ります。

(5) 植樹祭情報紙の発行

「全国植樹祭だより」を発行し、開催準備状況や記念事業の実施状況等について情報発信します。

(6) PRグッズの作成・配布

ロゴマーク等を用いた各種PRグッズを作成・配布し、開催の周知と機運の醸成を図ります。

第8章 広報・協賛計画

3 協賛計画

- 「第74回全国植樹祭」を成功へと導き、一過性のイベントとして終わらせることなく、県民を始めとする多くの方々の心に残る実り多いものとするためには、この大会の趣旨に御賛同いただくとともに、広く支援・協力を求めています。
- 協賛企業等は、第74回全国植樹祭の式典会場や公式ホームページ、広報誌、記録誌等で協賛者名が掲載されるなど、特典が得られます。

(1) 資金協賛

第74回全国植樹祭の開催に要する資金（協賛金）の提供

(2) 物品協賛

第74回全国植樹祭の開催に要する物品（協賛物品）の提供

(3) その他

第74回全国植樹祭の開催に要する機器等の無償貸与、役務の提供、広告掲示等による協力

※詳細は第5回総会で報告予定

【第 1 号議案】**令和 4 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について****1 令和 4 年度事業計画（案）****（1）会議の開催****① 実行委員会**

第 5 回 令和 4 年 7 月頃

経過報告、令和 3 年度事業報告及び収支決算、基本計画（素案）

第 6 回 令和 5 年 1 月頃

経過報告、基本計画（案）、大会ポスター原画の選定

※令和 5 年度事業計画（案）及び収支予算（案）については、県議会
議決後に書面審議を予定

② 幹事会

第 4 回 令和 4 年 6 月頃

第 5 回 令和 5 年 1 月頃

③ 専門委員会

◇式典等専門委員会【継続】

◇森林資源循環利用専門委員会【継続】

◇大会テーマ・シンボルマーク・大会ポスター原画専門委員会【継続】

（2）基本計画等の検討

基本構想に基づき、基本計画を検討。（令和 3 年度から継続）

第 5 回総会（令和 4 年 7 月頃）で基本計画（素案）、第 6 回総会（令和 5 年 1 月頃）で基本計画（案）を審議後、（公社）国土緑化推進機構特別委員会（令和 5 年 2 月予定）で承認予定。併せて、実施計画の検討に着手予定。

（3）開催機運醸成に向けた取組

開催機運の醸成を図る各種取組を実施。

① 苗木の育成体験

森林や身近な緑の大切さについて、幅広い世代の方々に知っていただくとともに、植樹祭の開催機運の醸成を図るため、記念事業等で活用する苗木を、県内の学校等に育てていただく「苗木のホームステイ・スクールステイ」の取組を継続実施。

② プレ地域植樹

県民のさらなる緑化意識の向上と開催機運の醸成を図るため、地域植樹を令和 4 年度に開催。

③ 広報活動

第74回全国植樹祭大会ポスター、公式ホームページ及び広報誌など様々な媒体を通じて取組を情報発信するとともに、ロゴマークを活用したのぼり旗やチラシなどの広報啓発品の制作や各種イベント等を通じたPRにより、全国植樹祭の開催に向けた気運を醸成。また、年2回発行する「全国植樹祭だより」を通じて、開催準備状況等を周知。

- ・第74回全国植樹祭大会ポスター掲示による県内外での大会PR
- ・公式ホームページやSNS等による情報発信
- ・新聞、ラジオ、テレビ等を活用した大会PR
- ・ロゴマークを活用した広報活動の展開
- ・各種イベントの参加者に対し、県産材を活用した啓発資材の配付
- ・全国植樹祭だよりを通じた最新情報の周知

④ 協賛活動

「第74回全国植樹祭」を成功へと導き、一過性のイベントとして終わらせることなく、県民をはじめとする多くの方々の心に残る実り多いものとするためには、企業・団体等の皆様の御協力がなくてはならないものと考えており、この大会の趣旨に御賛同いただくとともに、広く御支援・御協力をお願いするもの。

※詳細は検討中。次回総会で報告。

2 令和4年度収支予算（案）

（１）収入の部

（千円）

区 分	予 算 額	摘 要
1 負担金	18,643	岡山県負担金
2 諸収入	0	
合 計	18,643	

（２）支出の部

（千円）

区 分	予 算 額	摘 要
1 総務費	1,295	実行委員会・幹事会・専門委員会 開催費 等
2 開催事業費	15,479	基本計画・実施計画作成、苗木の育 成体験・プレ地域植樹開催 等
3 広報啓発費	1,869	大会ポスター原画選定、植樹祭だよ り発行 等
合 計	18,643	

【第 2 号議案】

第 7 4 回全国植樹祭ロゴマークの作成について

1 大会テーマ及びシンボルマークの決定（報告）

（1）募集概要

- ・募集期間 令和 3 年 8 月 5 日から令和 3 年 10 月 15 日まで
- ・応募状況 大会テーマ 1,444 点（実人員 789 人）
シンボルマーク 471 点

（2）審査概要

①審査員（大会テーマ・シンボルマーク・大会ポスター原画専門委員会委員）

区 分	氏 名	所 属 ・ 役 職
委 員 長	柴田 奈美	岡山県立大学デザイン学部 教授
副委員長	清田 哲男	岡山大学大学院教育学研究科 教授
委 員	杉本 孝一	(公社)岡山県緑化推進協会 事務局長
	藤井 茂樹	新見美術館 館長
	楨尾 俊之	岡山県農林水産部 部長
	佐藤 将男	岡山県環境文化部 部長

②審査経緯

〔一次審査〕

- ・大会テーマ 55 点を選定
- ・シンボルマーク 59 点を選定

〔二次審査〕

- ・大会テーマ 55 点から最優秀作品候補等を選定
- ・シンボルマーク 59 点から最優秀作品候補等を選定

〔最終審査〕

- ・二次審査の結果をもとに、それぞれ最優秀作品等を決定

③審査結果
〔大会テーマ〕

賞	作品等
＜最優秀賞＞	作 品：晴れの国 光で育つ 緑の心 作 者：おおすみ はんな大隅 絆成(岡山市北区・岡山市立西小学校5年生) 制作意図：岡山は晴れの国だから光を使った。育つのは緑にも心にも使えるから両方育てばいいなと思いその願いをこめた。 選定理由：人にも植物にも欠かせない光に着目し、晴れの国岡山が人・植物双方に豊かな環境であることをアピールでき光によって育まれた緑の心への無限の可能性が感じられる作品である。

＜優秀賞＞	作 品：晴れの国から森づくり 豊かな森は未来の希望 作 者：よしの のぶゆき吉野 信幸(埼玉県)
	作 品：晴れの国 つなぐみどりの ストーリー 作 者：ひらまつ たいすけ平松 泰輔(北海道)
	作 品：晴れの国から 植える木 守る木 未来の木 作 者：いけなが かずひろ池永 一広(大阪府)

[シンボルマーク]

賞・作品	作者等
＜最優秀賞＞ 	作 者：みやかわ ちはる 宮川 千明（岡山市北区） 制作意図：ももっち、うらっちの足元の輪を繋げる事で、「循環」「人・活動のつながり」を表現。2人の服装は緑を基調に動きやすい格好にした。背景の桃にサンバースト（太陽光線）をあしらう事で、晴れの国のイメージも足して岡山らしさを出した。 選定理由：背景の桃やサンバースト（太陽光線）が「岡山県」を明るい色彩で上手に表現できており、「第 74 回全国植樹祭」を全国にPRできる作品である。

へ 優 秀 賞 へ			
	まる かずよ 丸 和代（東京都）	とくひら か ず や 徳平 加寿也（大阪府）	いのまた あいこ 猪股 愛子（神奈川県）

2 第74回全国植樹祭ロゴマークの作成（審議）

令和6（2024）年に本県で開催する「第74回全国植樹祭」を効果的に周知するため、大会テーマ及びシンボルマークを組み合わせた、一体的なロゴマークを作成する。

（1）ロゴマーク（案）

（横型）



（縦型）



（ワッペン型）



（2）活用方法

大会ポスターやホームページ、「全国植樹祭だより」、ノベルティグッズ等の啓発資材など幅広く活用。

第 74 回全国植樹祭大会ポスター原画の募集について

令和 6 年春に岡山県で開催する「第 74 回全国植樹祭」を周知し、開催機運の醸成を図るため、県内の児童・生徒を対象に、大会テーマや開催理念等を表現した大会ポスター原画を募集するもの。

1 募集期間

令和 4 年 4 月 1 日（金）から令和 4 年 9 月 5 日（月）まで

2 賞及び表彰

- ・最優秀賞 1 点
- ・第 6 回総会において、報告・表彰予定

3 活用方法

最優秀作品を第 74 回全国植樹祭大会
ポスター原画に採用（※右図の太枠部分）



第 71 回全国植樹祭大会ポスター

苗木の育成体験の募集について

第 74 回全国植樹祭を記念して苗木を県内の学校等で育ててもらうことで、森林や身近な緑の大切さについて知っていただくとともに、植樹祭の開催機運を高める。

1 実施事業 苗木のホームステイ・スクールステイ

2 実施体制 公益社団法人岡山県緑化推進協会へ委託実施

3 実施内容

- (1) 募集年度 令和 4 年度
- (2) 募集期間 4 ～ 6 月頃
- (3) 募集方法 ホームページ募集、チラシ配布等
- (4) 募集团体数 30 校程度
- (5) 育苗樹種 どんぐり等
- (6) 育苗本数 一人 1 本程度
- (7) 育苗期間 育苗開始から 2 年程度
- (8) 育苗後の取扱い アフター地域植樹で活用

4 スケジュール

- 4 ～ 6 月 募集・決定
- 7 ～ 9 月 参加校との調整
- 10 月～ 取組開始

第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会（総会）今後の予定

会議日程	会議内容（報告、審議、決定事項等）
【設立総会】 （第 1 回総会） 令和 2 年 11 月 16 日	1 実行委員会の設立について 2 令和 2 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 3 専門委員会への付託事項について
【第 2 回総会】 令和 3 年 3 月 23 日	1 令和 3 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
【第 3 回総会】 令和 3 年 7 月 30 日	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 2 年度事業報告及び収支決算について 3 <u>基本計画の策定</u> について
【第 4 回総会】 令和 4 年 3 月 25 日	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 4 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 3 <u>基本計画の策定状況</u> について
【第 5 回総会】 令和 4 年 7 月頃	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 3 年度事業報告及び収支決算について 3 <u>基本計画（素案）</u> について
【第 6 回総会】 令和 5 年 1 ～ 3 月頃	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 <u>基本計画（案）</u> について → 令和 5 年 2 月の国土緑化推進機構特別委員会で基本計画の承認・決定 3 令和 5 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
【第 7 回総会】 令和 5 年 7 月頃	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 4 年度事業報告及び収支決算について 3 <u>実施計画（素案）</u> について
【第 8 回総会】 令和 6 年 1 ～ 3 月頃	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 <u>実施計画（案）</u> について → 令和 6 年 2 月の国土緑化推進機構特別委員会で実施計画の承認・決定 3 令和 6 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
令和 6 年（春） 第 74 回全国植樹祭岡山県開催	
【第 9 回総会】 令和 7 年 2 月頃	1 令和 5 年度、令和 6 年度事業報告及び収支決算について 2 実行委員会の解散について

第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会第 4 回総会 議事概要

■日 時：令和 4 年 3 月 25 日（金）13：30～14：15

■場 所：メルパルク岡山 1 階「泰平」（岡山市北区桑田町）

■出席者：別紙出席者名簿のとおり

■議事内容

1 挨拶

実行委員会 会長 伊原木知事 開会挨拶

2 報告

（１）令和 3 年度の取組状況及び収支決算見込みについて【資料 1】

事務局から説明

◇質疑等：なし

（２）第 74 回全国植樹祭基本計画の策定状況について【資料 2】

事務局から説明

◇質疑等：なし

3 議事

【第 1 号議案】令和 4 年度事業計画（案）及び収支決算（案）について 【資料 3】

事務局から説明

◇質疑等：なし

→ 出席者の拍手をもって、原案どおり承認された。

【第 2 号議案】第 74 回全国植樹祭ロゴマークの作成について【資料 4】

（報告）大会テーマ・シンボルマークの決定について

◇質疑等：なし

→ 出席者の拍手をもって、原案どおり承認された。

4 その他

（１）大会ポスター原画の募集について【資料 5】

（２）苗木の育成体験の募集について【資料 6】

（３）今後の予定について【資料 7】

事務局から説明

◇質疑等：なし

※総会終了後、下記を開催

①大会テーマ・シンボルマークの表彰式（各最優秀賞 1 点）

②第 74 回全国植樹祭ロゴマークのお披露目式